

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成29年11月24日 (2017.11.24)

【公開番号】特開2017-131709(P2017-131709A)
 【公開日】平成29年8月3日 (2017.8.3)
 【年通号数】公開・登録公報2017-029
 【出願番号】特願2017-67371(P2017-67371)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】
 【提出日】平成29年9月26日 (2017.9.26)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技領域のうち、特定の転動領域内にある遊技媒体を受け入れ可能な大入賞口手段と、第一受入口に遊技媒体が受け入れられたことに基づいて第一抽選を行う第一抽選手段と

、
 前記第一抽選手段による第一抽選にて第一側特定結果が得られた場合、前記大入賞口手段が開放される開放状態と、前記大入賞口手段が閉鎖される閉鎖状態との間で相互切り替えが行われうる特別遊技を実行可能な特別遊技実行手段と、

前記開放状態から前記閉鎖状態に切り替えられた後に前記大入賞口手段に到達した遊技媒体を、前記特定の転動領域内にて転動状態が維持されるかたちで所定の有限時間にわたって留まらせて、前記特別遊技において前記所定の有限時間内に前記閉鎖状態から前記開放状態に切り替えられるときに前記大入賞口手段に受け入れられうるようにする入賞慰留手段と、を備え、

さらに、

前記大入賞口手段は、遊技媒体が上面を流下可能となるように形成されたスライド片を有し、該スライド片が動作することにより前記開放状態と前記閉鎖状態との間での状態変化を生み出すものであり、

前記スライド片の上面は、その長手方向における流下速度が「0」になった遊技媒体であってもこれを自重によって長手方向へと流下可能とするだけの傾斜角度を有して設けられ、

さらに、

遊技媒体が通過可能とされるゲート部と、

前記ゲート部を遊技媒体が通過したことに基づいて受け入れ可能とされる第二受入口と

、
 前記第二受入口に遊技媒体が受け入れられたことに基づいて第二抽選を行う第二抽選手段と、を備え、

前記特別遊技実行手段は、

前記第二抽選手段による第二抽選にて第二側特定結果が得られた場合も、前記大入賞口手段で遊技媒体を受け入れ可能とする開放状態と、前記大入賞口手段で遊技媒体を受け入れ可能としない閉鎖状態との間で相互切り替えが行われうる特別遊技を実行可能なもので

あり、

前記大入賞口手段は、

前記第一抽選手段による第一抽選にて第一側特定結果が得られた場合に前記特別遊技実行手段によって行われる特別遊技と、前記第二抽選手段による第二抽選にて第二側特定結果が得られた場合に前記特別遊技実行手段によって行われる特別遊技とで共用されるものである

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

手段１：遊技領域のうち、特定の転動領域内にある遊技媒体を受け入れ可能な大入賞口手段と、

第一受入口に遊技媒体が受け入れられたことに基づいて第一抽選を行う第一抽選手段と

、
前記第一抽選手段による第一抽選にて第一側特定結果が得られた場合、前記大入賞口手段が開放される開放状態と、前記大入賞口手段が閉鎖される閉鎖状態との間で相互切り替えが行われうる特別遊技を実行可能な特別遊技実行手段と、

前記開放状態から前記閉鎖状態に切り替えられた後に前記大入賞口手段に到達した遊技媒体を、前記特定の転動領域内にて転動状態が維持されるかたちで所定の有限時間にわたって留まらせて、前記特別遊技において前記所定の有限時間内に前記閉鎖状態から前記開放状態に切り替えられるときに前記大入賞口手段に受け入れられうるようにする入賞慰留手段と、を備え、

さらに、

前記大入賞口手段は、遊技媒体が上面を流下可能となるように形成されたスライド片を有し、該スライド片が動作することにより前記開放状態と前記閉鎖状態との間での状態変化を生み出すものであり、

前記スライド片の上面は、その長手方向における流下速度が「０」になった遊技媒体であってもこれを自重によって長手方向へと流下可能とするだけの傾斜角度を有して設けられ、

さらに、

遊技媒体が通過可能とされるゲート部と、

前記ゲート部を遊技媒体が通過したことに基づいて受け入れ可能とされる第二受入口と

、
前記第二受入口に遊技媒体が受け入れられたことに基づいて第二抽選を行う第二抽選手段と、を備え、

前記特別遊技実行手段は、

前記第二抽選手段による第二抽選にて第二側特定結果が得られた場合も、前記大入賞口手段で遊技媒体を受け入れ可能とする開放状態と、前記大入賞口手段で遊技媒体を受け入れ可能としない閉鎖状態との間で相互切り替えが行われうる特別遊技を実行可能なものであり、

前記大入賞口手段は、

前記第一抽選手段による第一抽選にて第一側特定結果が得られた場合に前記特別遊技実行手段によって行われる特別遊技と、前記第二抽選手段による第二抽選にて第二側特定結果が得られた場合に前記特別遊技実行手段によって行われる特別遊技とで共用されるものである

ことを特徴とする遊技機。